

(ちば経済トレンド)

7月中旬以降の猛暑が、夏物商品の消費需要や海水浴場、大型プール施設などのレジャー需要を盛り上げ、米の生育にも好影響

気象庁によれば、7月上旬の千葉市の平均気温は23.4 と、前年(27.5)を下回り、ほぼ平年並み(23.6)だったが、7月24日以降は8月6日を除くすべての日で最高気温が30 を超える真夏日を記録(のべ22日間)するなど、暑い日が続いている(8月8日現在)。

このため、県内の商用施設では、7月初旬には低調だった扇風機やエアコン、ネッククールなど夏物商品の売れ行きが、中旬以降、気温の上昇とともに好調に推移している。また、海水浴場や大型プール施設でも来場者数が増えて、7月の来場者数は、震災前の10年の水準には届かないものの、前年を2～3割上回る盛況の先もみられる。

今夏は、暑さに加えて、東日本大震災の影響で自粛していた花火大会の復活や、ロンドンオリンピック(開催期間：7月27日～8月12日)の開催により、コンビニエンスストアでは、深夜のテレビ観戦用のビールやつまみ類のほか、寝不足対策として栄養ドリンク等の売上が前年をやや上回っている。

㈱米穀データバンクの2012年産米の収穫予想では千葉県作況指数は101の「平年並み」と予想されているが、農業関係者からは、「この暑い天候が続き、日照時間が増えれば、出来秋には品質の良い米を収穫できる」との声も聞かれる(森)。

夏物商品 : 県内大手家電量販店では、7月上旬の気温が前年を大幅に下回ったため、震災のあった前年ほど売上の勢いはなかったが(前年は節電ブームで扇風機の売上が伸びた)、7月下旬以降は、扇風機やエアコン、ネッククールなどの売上が増加している。扇風機については、今夏の生産を終了しているメーカーもあり、こうした先では8月に猛暑が続けば、在庫切れになる可能性があるとしている。なお、今年4月に開業した三井アウトレットパーク木更津では、オープン当初の時期に比べ来場者数はやや少なめながら、対岸の東京都や神奈川県などからアクアライン経由の来場者も徐々に増加するなど、7月以降も引続き盛況とのこと。

大型プール施設 : 7月上旬は気温が低く、来場者数は少なかったが、気温の上昇に伴い、中旬以降は増加傾向にあり、7月中の来場者数は、記録的な猛暑だった10年比では、2割程度減少しているが、11年比では3～4割増加している。この傾向は8月入り後も続いている(県内の大規模プール)。

海水浴場 : 砂浜の侵食により海水浴場を閉鎖するところもあるが、開場したなかで、九十九里町の海水浴場の来場客数は(7月末現在)約77,000人と、震災前の10年の同期間(約120,000人)と比べ35%下回っているが、11年の約60,000人と比べて30%増加し、賑わっている。同町によると、来場者数が前年比増加したのは、7月後半に気温が上昇したことや、県が海水の放射性物質モニタリング調査結果をHPにて公表しているため、海水浴場の安心・安全をPRできていたことが要因とみている(県が実施している同調査では、県内のすべての海水浴場で、放射性物質は不検出となっている：8月3日現在)。富津市内にある5つの海水浴場でも、7月の来場者数は、11年比20%増の約18,000人と、気温の上昇とともに8月以降も来場者数は増加傾向にある(10年比では、約40%減少)。

花火大会 : 2年ぶりに開催された千葉市花火大会は(8月4日)、今年から開催場所を千葉ポートタワーから海浜幕張に変更したことが奏功し、来場者数は10年の約20万人から約30万人に増加した(千葉市観光協会)。これに伴い、県内外から多くの人々が周辺ホテルに宿泊し、開催日当日には予約で満室となるホテルもあった。

コンビニエンスストア : 真夏日が続いているほか、花火大会・夏祭りの復活、オリンピックの深夜テレビ観戦需要の増加から、缶ビールやつまみ類、スナック菓子、ソフトドリンク等の売上が前年比やや増加している。

ビアガーデン : 晴天が続く、気温も上昇している7月中旬以降から客入りが増加。若い女性客をターゲットとした女子会プランも好評で、7月末までの売上は前年比2～3割増加した。

農業 : 今年の多古米は、5月頃までは天候がよく生育は順調だったが、6月に入り、低温が続いたため、生育は停滞していた。しかし、7月中旬以降、天候の良い日が続いているので、現在は順調な生育状況に戻り、収穫期の8月下旬から9月上旬頃には品質の高い多古米ができる(JA多古町)としている。

千葉市の平均気温の推移

(単位：℃、カッコ内は日数)

時期	10年	11年	12年	平年
6月中	22.9 (2, 0)	22.3 (3, 1)	20.7 (0, 0)	21.3
7月中	27.7 (17, 4)	26.8 (18, 0)	25.7 (15, 0)	25.0
7月上旬 (7/1～7/10)	26.3 (5, 0)	27.5 (8, 0)	23.4 (0, 0)	23.6
7月中旬 (7/11～7/20)	27.7 (7, 0)	28.5 (9, 0)	26.9 (7, 0)	25.0
7月下旬 (7/21～7/31)	29.0 (5, 4)	24.6 (1, 0)	26.8 (8, 0)	26.2
8月上旬 (8/1～8/10)	28.8 (9, 0)	27.5 (8, 0)	27.8 (7, 0)	26.9

(出所)気象庁

(注)1. カッコ内は左項から順に、真夏日、猛暑日の日数。
2. 12年中の8月上旬は、8日までの平均値。